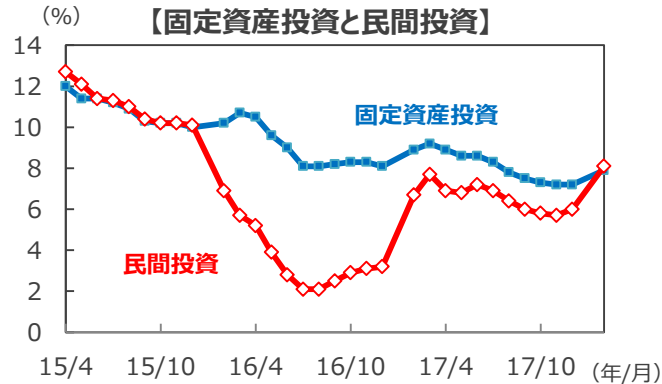


今日のトピック 予想外に加速した中国経済（2018年3月）

投資や生産が予想を大きく上回る伸び

ポイント1 固定資産投資は+7.9% 市場予想を大きく上回る

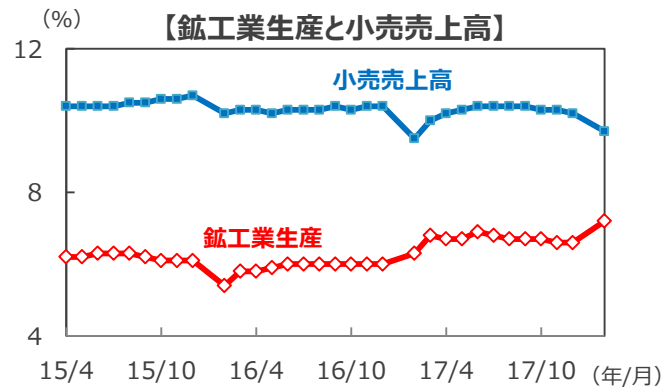
- 中国国家統計局は14日、主要経済指標を発表しました。1～2月の固定資産投資は前年同期比+7.9%と市場予想（ブルームバーグ集計、同+7.0%）を大きく上回り、17年通年（同+7.2%）から伸び率が拡大しました。
- 内訳をみると、固定資産投資の約6割を占める民間投資が同+8.1%と、17年通年の同+6.0%から加速しました。



（注）データは2015年4月～2018年2月、年初来累計の前年同期比。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 1～2月の生産は加速 小売売上高は減速

- 1～2月の鉱工業生産は前年同期比+7.2%と市場予想（同+6.2%）を大きく上回り、17年通年（同+6.6%）から伸び率が拡大しました。生産は中国政府が実施した環境保護政策の影響を受けるとみられましたが、厳冬に伴い電力生産が急上昇したことなどから、全体として加速しました。
- 一方で、1～2月の小売売上高は前年同期比+9.7%と市場予想（同+9.8%）を下回り、17年通年（同+10.2%）から減速しました。



（注）データは2015年4月～2018年2月、年初来累計の前年同期比。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 景気は緩やかな減速へ

- 1～2月の固定資産投資や鉱工業生産の伸び率は、市場予想及び前月を大幅に上回り、中国景気が予想以上に堅調に推移していることが示されました。ただし、中国の統計は、春節（旧正月）休暇とその前後に経済活動が休止することが多いことから2カ月分をまとめて1～2月として発表されるため、通常より振幅が大きくなりやすいことに留意が必要です。
- 習近平指導部は、企業債務の削減や環境規制の強化を掲げる一方で、質の高い経済成長を目指す方針を決定しています。今後は資源セクターの供給削減などの構造改革の進展に伴い、中国景気は鈍化が見込まれるものの、情報技術セクターの高成長が下支えするため、緩やかな減速にとどまる見通しです。

ここもチェック! 2018年2月28日 2018年の『全人代』の注目点
2018年2月 7日 中立水準超えが続く中国の『PMI』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。